

(2) マンホールふたのリスク評価

被害規模の3ランクと発生確率の3ランクを用いて、**図 3-4-5** に示す 3×3 のリスクマトリクスを設定し、リスクの大きさを評価する。被害規模（影響度）と発生確率（不具合の起こりやすさ）のランクの積を得点とし、得点が高い順に優先度を設定した。同じ得点の場合は、発生確率が大きい方の優先度を高くする。

経過年数	リスク評価(優先度)					
30年以上	3 （不具合の発生確率の起こりやすさ）	↑ 高 ↓ 低	6 (3)	8 (6)	9 (9)	
15年以上			3 (2)	5 (4)	7 (6)	
15年未満			1 (1)	2 (2)	4 (3)	
			低 → 高			
			被害規模(影響度)			
			1	2	3	
			その他	一般緊急輸送路下	特定緊急輸送路下	

優先度 I

優先度 II

優先度 III

図 3-4-5. リスクマトリクス（マンホールふた）

※（）内の数字は被害規模（影響度）と発生確率（不具合の起こりやすさ）のランクの積の得点を表す

表 3-4-3、表 3-4-4、**図 3-4-6**、**図 3-4-7** にリスク算定結果を示す。点検・調査は処理分區別に行うことを想定し、リスクは処理分區別に評価した。

表 3-4-3. 不具合の起こりやすさのランク（マンホールふた）

優先度	箇所数	割合
I	849	5.00%
II	2,494	16.00%
III	12,433	79.00%
計	15,776	100%

表 3-4-4. ブロック別優先度箇所数整理表

単位：箇所数

処理分区	優先度Ⅰ		優先度Ⅱ		優先度Ⅲ	
	箇所数	割合	箇所数	割合	箇所数	割合
あきる野第一一ノ谷	62.00	4.68%	110.00	8.31%	1,152.00	87.01%
あきる野第二の一南秋留	0.00	0.00%	0.00	0.00%	305.00	100.00%
あきる野第二の二南秋留	52.00	6.61%	52.00	6.61%	683.00	86.78%
あきる野第三大塚	128.00	5.59%	709.00	30.96%	1,453.00	63.45%
あきる野第四東秋川	26.00	3.68%	210.00	29.70%	471.00	66.62%
あきる野第五菅瀬	43.00	5.51%	42.00	5.38%	696.00	89.11%
あきる野第六小宮	0.00	0.00%	31.00	3.79%	787.00	96.21%
あきる野第七秋留台	0.00	0.00%	0.00	0.00%	283.00	100.00%
あきる野第八平高	49.00	2.03%	220.00	9.12%	2,142.00	88.85%
あきる野第九玉見	46.00	3.06%	652.00	43.38%	805.00	53.56%
あきる野第十北伊奈	26.00	5.90%	152.00	34.47%	263.00	59.63%
あきる野第十一の一	2.00	5.56%	2.00	5.56%	32.00	88.88%
あきる野第十一の二	-	-	-	-	-	-
あきる野第十一の三	24.00	9.02%	0.00	0.00%	242.00	90.98%
あきる野第十一の四	58.00	10.68%	1.00	0.18%	484.00	89.14%
あきる野第十一の五	0.00	0.00%	0.00	0.00%	309.00	100.00%
あきる野第十一の六	27.00	3.44%	28.00	3.57%	729.00	92.99%
あきる野第十一の七	212.00	12.07%	145.00	8.25%	1,400.00	79.68%
あきる野第十二山田	94.00	21.81%	141.00	32.71%	196.00	45.48%
日野出第一大久野	-	-	-	-	-	-
計	849.00	5.38%	2,495.00	15.82%	12,432.00	78.80%

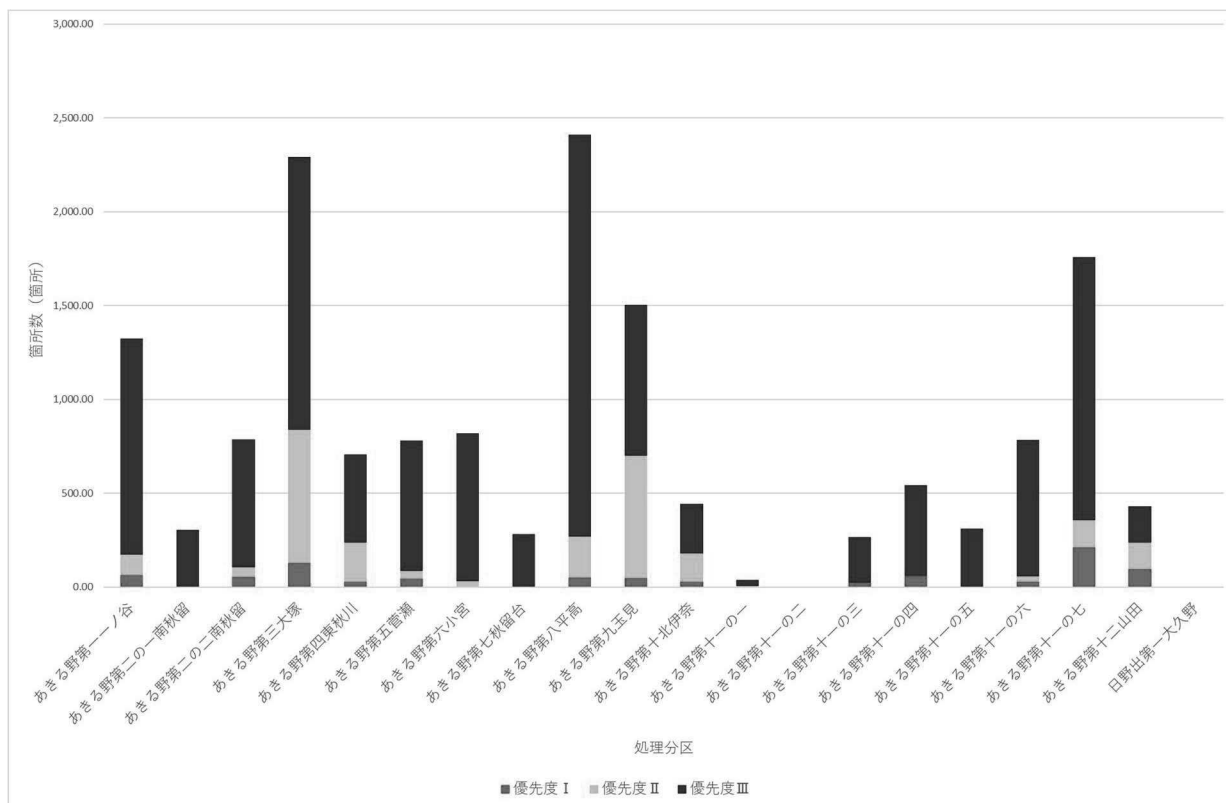


図 3-4-6. 優先度箇所数

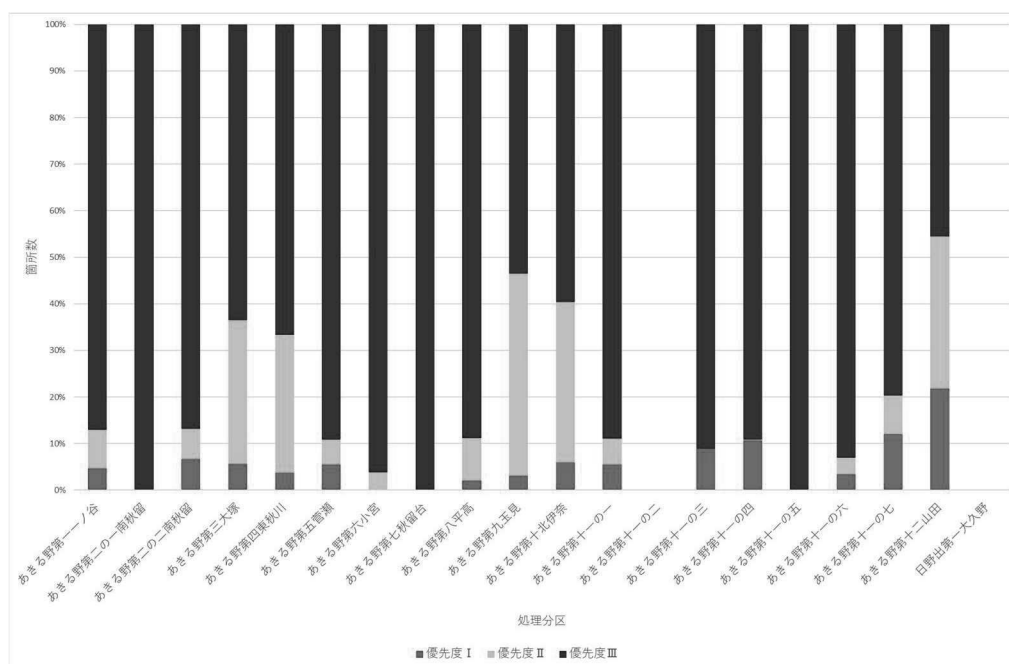


図 3-4-7. 優先度箇所数割合

図 3-4-8 にリスク算定結果図（マンホールふた）を示す。

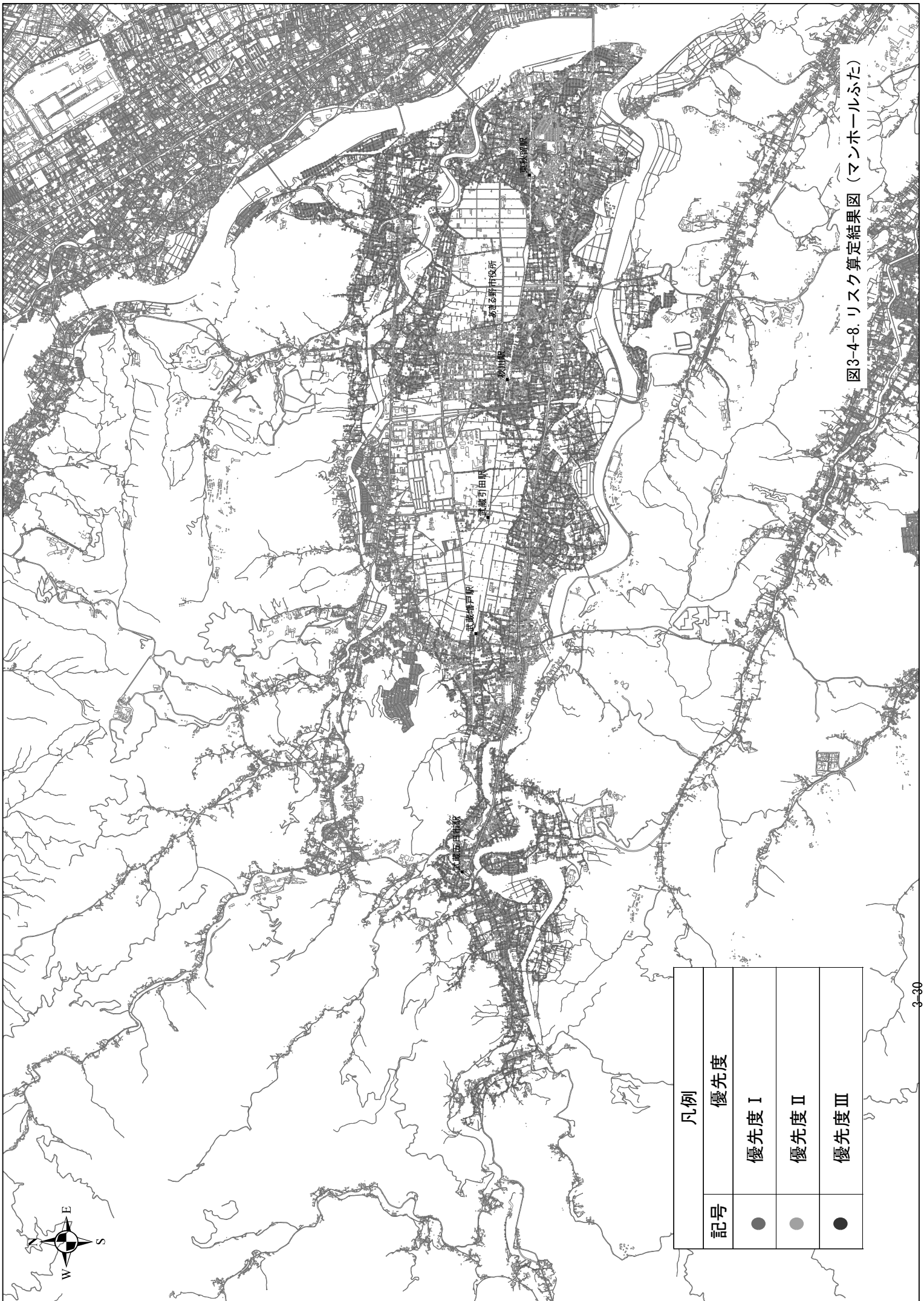


図3-4-8. リスク算定結果図 (マンホールふた)

凡例	
記号	優先度
●	優先度Ⅰ
●	優先度Ⅱ
●	優先度Ⅲ